

学校だより



いきいき鯨っ子

佐賀大学教育学部附属小学校 令和3年2月2日

やさしく
かしこく
たくましく

【教育目標】「生き抜く力」を備えたりーダー性のある児童の育成
— 子どもも教師も笑顔で深く学び、日々感動のある学校 —

送迎や時間短縮授業の円滑な実施に対するご協力 ありがとうございます

自家用車での送迎や時差登校、短縮校時の実施につきましては、保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、円滑に行うことができています。ありがとうございます。

ここ数日間の感染者数の状況を見ていると、減少傾向にあります。佐賀県新型コロナウイルス対策本部会議」での見解では、まだ油断はできない状況だと考えます。

つきましては、今しばらく現在の対応を継続して、子どもたちを市中感染の危険性から出来るだけ遠ざけたいと考えています。佐賀県としては、山口知事の「まだ予断を許さない状況。2月7日まで対策し、ステージⅡ、ステージⅠになるよう、オール佐賀、チーム佐賀で1つになって乗り越えたい。」との見解に基づいて対応がなされると思しますので、本校としては、佐賀県の感染拡大状況が「ステージⅡ」になった段階で、通常の登下校と校時に戻したいと考えています。

2月8日以降の第2週で、通常の登下校と校時に戻ることが出来ればと願っているところですが、その際には、「はなまる連絡帳」でご連絡を差し上げます。

なお、「ステージⅡ」となり、通常の登校となった場合にも、医療職や介護職に従事されるご家庭や、高齢者や基礎疾患をお持ちのご家族がいらっしゃるご家庭においては、送迎を継続していただくことも結構です。

またこの時も、下校の際に、佐賀城公園駐車場（レトロ館東西）は、ご利用くださって結構です。

授業参観と懇談会について

授業参観と学級懇談会につきましては、先日お知らせしました日時と形態で実施する予定です。複数回ご来校していただかなくてはならないご家庭もありますが、改めまして、よろしくお願いたします。

来年度新入学児童に関わる主要行事が終わりました

入学調査の第一次選考と第二次選考、また新入学児童保護者説明会が、先週末までに、無事に終了しました。12月からの「校舎内立入禁止」措置につきましては、保護者の皆様にもご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

なお今年度からは、前年度までの「敷地内立入禁止」から「校舎内立入禁止」に変更して、体育館棟には、小プール横の通路を通して直接入っていただくことが出来るようになりました。この対応は、来年度以降も継続しますので、育友会の会議や活動など、少しなりともやり易くなるかと存じます。

また、放課後児童クラブの運営につきましても、ご理解くださりありがとうございました。今年度は入学調査に関わってどのような影響が出るのかが分かりませんでしたので、延長の場合は「赤松小の元児童クラブ用の部屋」に移動をしていただくことになりました。

来年度の12月は、本校での延長預かりが可能となる予定です。ただし、入学調査の都合上、延長預かりが出来ない日が、数日出てきますので、この点につきましては、予めご了承ください。

放課後児童クラブの運営に関わる本校の対応につきましては、保護者の皆様のご希望を踏まえて、今後とも佐賀市と協議をしながら、検討してまいります。

参考資料 学校の行動基準と感染状況のステージ

下の表は、報道でもよく示される、感染状況の危険度を示す「ステージ」と、文部科学省が示している「新しい行動様式を踏まえた学校の行動基準」です。ご参考までにお知らせします。

「学校の行動基準」には、3段階のレベルがあり、そのレベルによって実施できる学習活動が別途設定されています。

基本的な感染予防対策をすることが大前提にありますが、それでもなお、感染の危険性が高い活動については、「レベル3では、活動を行わないこと」、「レベル2では、慎重に検討すること」と示されています。今回、なわとび大会を中止とした判断も、この行動基準に基づくものでした。

佐賀県と本校の状況は、下の表の にあたる部分です。

(参考)

本マニュアル	新型コロナウイルス感染症分科会提言（※）における分類		
レベル3	ステージⅣ	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階	(病院間クラスター連鎖などの大規模かつ深刻なクラスター連鎖が派生し、 爆発的な感染拡大 により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生し始め、 公衆衛生体制及び医療提供体制が機能不全に陥ることを避けるための対応が必要な状況。)
	ステージⅢ	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階	(ステージⅡと比べてクラスターが広範囲に多発する等、 感染者が急増し、新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制への負荷がさらに高まり、一般医療にも大きな支障が発生することを避けるための対応が必要な状況。)
レベル2	ステージⅡ	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階	(3密環境などリスクの高い場所でクラスターが度々発生することで、 感染者が漸増し、重症者が徐々に増加してくる 。このため、保健所などの 公衆衛生体制の負荷も増大するとともに 、新型コロナウイルス感染症に対する医療以外の一般医療も並行して実施する中で、 医療体制への負荷が蓄積しつつある。)
レベル1	ステージⅠ	感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階	

※「今後想定される感染状況と対策について」(令和2年8月7日新型コロナウイルス感染症分科会提言)

今、丁寧なあいさつができる学校に

毎朝、校門では、ほとんどの子どもたちが、お辞儀をしながら挨拶をしています。立ち止まってお辞儀をする子も多くなってきました。また、離れた所から大きな声で「おはようございます」と言ってお辞儀をしてくれる子もいます。今、とても丁寧な挨拶ができるようになっていきます。

これは、6年生と児童会の皆さんの、リーダーシップによるものです。昨年秋から冬にかけては、「あいさつ運動」が盛り上がりました。学校を良い方向に引っ張ってくれた皆さんに感謝です。

しっかり定着させて、学校外での挨拶へも輪を広げたいものです。



学校の外でも挨拶の声を響かせる6年生



全校で行った「あいさつ運動」